

## 3.2 社会的状況

### 3.2.1 人口及び産業の状況

#### 1. 人口の状況

事業実施想定区域周辺の地域として、北九州市の人口及び世帯数は、福岡県の発表によると令和6年10月末日において、人口が897,183人、世帯数が473,379世帯となっている。同様に福岡県においては、人口が4,978,653人、世帯数は2,484,991世帯となっており、福岡県全体に占める割合は、人口が約18%、世帯数が約19%を占めている。

(出典：「住民基本台帳年報」、福岡県 HP

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/juki-geppou-r6nendo-ex1.html> (令和6年11月閲覧))

また、離島については、北九州市の発表によると令和6年9月30日時点において、馬島(同市小倉北区大字馬島として集計)の人口は27人、世帯数14世帯、藍島(同市小倉北区大字藍島として集計)の人口は183人、世帯数は92世帯となっている。

(出典：「北九州市の人口(町別)」、北九州市 HP

[https://www.city.kitakyushu.lg.jp/contents/924\\_00921.html](https://www.city.kitakyushu.lg.jp/contents/924_00921.html) (令和6年11月閲覧))

## 2. 産業の状況

### (1) 漁業に係る状況

#### ① 北九州市の漁獲量

北九州市の漁業種別漁獲量（平成26～30年）を表3.2-1に、魚種別漁獲量（平成26～30年）を表3.2-2に示す。平成30年の北九州市の漁獲量は3,239tであった。

漁業種別では、「その他の漁業」が最も多く1,160t、「はえ縄以外の釣（その他の釣）」が462t、「刺網（その他の刺網）」が406tであった。

魚種別では「たこ類」が762t、「いか類（その他のいか類）」が331t、「その他の魚類」が470tであり、これらが漁獲量の多くを占めている。

表 3.2-1 北九州市の漁業種別漁獲量（平成26～30年）

(単位:t)

漁業種別				平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
底びき網	遠洋底びき網			-	-	-	-	-
	以西底びき網			-	-	-	-	-
	沖合底びき網	1 そうびき		-	-	-	-	-
		2 そうびき		-	-	-	-	-
小型底びき網			x	x	156	173	171	
船びき網				115	127	118	129	132
まき網	大中型まき網	1 そうまき	遠洋かつお・まぐろ	-	-	-	-	-
			近海かつお・まぐろ	-	-	-	-	-
			その他	-	-	-	-	-
	2 そうまき網			-	-	-	-	-
中・小型まき網			-	-	-	-	-	
刺網	さけ・ます流し網			-	-	-	-	-
	かじき等流し網			-	-	-	-	-
	その他の刺網			394	413	399	417	406
敷網	さんま棒受網			-	-	-	-	-
定置網	大型定置網			-	-	-	-	-
	さけ定置網			-	-	-	-	-
	小型定置網			125	116	113	x	74
その他の網漁業				66	37	25	x	4
はえ縄	まぐろはえ縄	遠洋まぐろ		-	-	-	-	-
		近海まぐろ		-	-	-	-	-
		沿岸まぐろ		-	-	-	-	-
	その他のはえ縄			x	x	75	77	102
はえ縄以外の釣	かつお一本釣	遠洋かつお		-	-	-	-	-
		近海かつお		-	-	-	-	-
		沿岸かつお		-	-	-	-	-
	いか釣	遠洋		-	-	-	-	-
		近海		-	-	-	-	-
		沿岸		96	139	214	74	80
	ひき縄釣			282	289	281	273	296
その他の釣			519	531	518	457	462	
採貝・採藻				x	x	260	479	352
その他の漁業				1,139	1,129	1,120	1,111	1,160
合計				3,278	3,284	3,279	3,334	3,239

注) 「-」は事実のないもの、「x」は個人等の秘密に属する事項を秘匿するため統計数値を公表しないものを示す。  
出典:「海面漁業生産統計市町村別データ(平成26～30年)」(政府統計の総合窓口HP)

表 3.2-2 北九州市の魚種別漁獲量（平成 26～30 年）

(単位:t)

魚種	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	
魚類	まぐろ類	0	0	0	x	x
	かじき類	-	-	-	-	-
	かつお類	-	-	-	-	-
	さめ類	2	3	2	4	2
	さけ類	-	-	-	-	-
	ます類	-	-	-	-	-
	このしろ	24	24	25	19	4
	にしん	-	-	-	-	-
	まいわし	4	0	-	-	-
	うめいわし	-	-	-	-	-
	かたくちいわし	62	37	25	x	x
	しらす	-	-	-	-	-
	まあじ	177	181	178	121	129
	むろあじ類	4	4	4	4	5
	さば類	0	1	0	0	0
	さんま	-	-	-	-	-
	ぶり類	205	201	199	151	152
	ひらめ	45	45	44	48	48
	かれい類	42	52	52	56	44
	まだら	-	-	-	-	-
	すけとうだら	-	-	-	-	-
	ほっけ	-	-	-	-	-
	きちじ	-	-	-	-	-
	はたはた	-	-	-	-	-
	にぎす類	-	-	-	-	-
	あなご類	15	18	17	12	9
	たちうお	3	3	3	3	2
	まだい	127	139	132	163	181
	ちだい・きだい	11	16	16	13	22
	くろだい・へだい	100	104	102	102	101
	いさき	1	2	1	1	1
	さわら類	147	145	131	137	155
すずき類	85	84	84	73	69	
いかなご	-	-	-	-	-	
あまだい類	8	14	11	12	13	
ふぐ類	49	51	51	43	53	
その他の魚類	422	448	429	472	470	
計	1,534	1,572	1,507	1,484	1,463	
えび類	52	45	45	50	46	
かに類	84	83	92	97	99	
おきあみ類	-	-	-	-	-	
貝類	あわび類	24	23	22	15	20
	さざえ	78	77	76	78	94
	あさり類	0	0	x	0	0
	ほたてがい	-	-	-	-	-
	その他の貝類	8	8	8	3	6
計	109	107	x	96	120	
いか類	するめいか	4	6	6	2	3
	あかいか	-	-	-	-	-
	その他のいか類	397	412	488	315	331
計	401	418	494	317	334	
たこ類	792	786	770	747	762	
うに類	20	26	24	53	58	
海産ほ乳類	-	-	-	-	-	
その他の水産動物類	30	42	x	72	74	
海藻類	こんぶ類	-	-	-	-	-
	その他の海藻類	256	204	196	418	282
合計	3,278	3,284	3,279	3,334	3,239	

注)「-」は事実のないもの、「0」は単位に満たないもの、「x」は個人等の秘密に属する事項を秘匿するため統計数値を公表しないものを示す。

出典:「海面漁業生産統計市町村別データ(平成 26～30 年)」(政府統計の総合窓口 HP)

## ② 周辺漁港における属地陸揚量

北九州市沿岸部において、事業実施想定区域周辺に面した漁港として、岩屋漁港、脇田漁港、脇之浦漁港及び藍島漁港が挙げられる。漁港の位置を図 3.2-1 に示す。

令和3年における各漁港における魚種別及び漁業種別の属地陸揚量（上位5種）は、表 3.2-3 及び表 3.2-4 に示すとおりである。



凡例

● 漁港

□ 事業実施想定区域

出典：「漁港」（環境省、環境アセスメントデータベース、令和6年11月閲覧）をもとに作成

図 3.2-1 漁港位置

表 3.2-3 主要魚種別属地陸揚量（上位5種）

漁港		順位	1位	2位	3位	4位	5位
岩屋漁港	魚種		ひじき	たい類	その他の魚類	その他の海藻類	さわら類
	数量(トン)		45	31	23	21	20
脇田漁港	魚種		さわら類	いか類	その他の魚類	ぶり類	うに類
	数量(トン)		24	21	16	9	8
脇之浦漁港	魚種		さざえ	いか類	たこ類	うに類	その他の魚類
	数量(トン)		20	19	19	13	11
藍島漁港	魚種		ひじき	さざえ	たこ類	たい類	その他の魚類
	数量(トン)		97	61	45	38	35

出典：「漁港港勢の概要 令和3年」（水産庁、令和6年2月）を基に作成

表 3.2-4 主要漁業種類別属地陸揚量（上位5種）

漁港		順位	1位	2位	3位	4位	5位
岩屋漁港	漁業種類		採藻	その他のほえ縄	ひき縄釣	採貝	いか釣り
	数量(トン)		71	54	21	14	11
脇田漁港	漁業種類		ひき縄釣	いか釣り	その他の刺網	潜水器漁業	小型定置網
	数量(トン)		26	20	20	12	10
脇之浦漁港	漁業種類		潜水器漁業	かご漁業	その他の漁業	その他の釣	イカ釣り
	数量(トン)		48	16	16	8	8
藍島漁港	漁業種類		採藻	潜水器漁業	その他の刺網	その他の漁業	ひき寄せ網
	数量(トン)		130	104	51	33	32

出典：「漁港港勢の概要 令和3年」（水産庁、令和6年2月）を基に作成

### 3.2.2 水域（土地）利用の状況

#### 1. 港湾区域及び漁港区域

福岡県の港湾（図 3.2-2 参照）は、北西を玄界灘、響灘、南西を有明海、北東を周防灘に面しているという地理的条件から海との関わり合いが強く、港は古くから大陸との玄関口として栄え、今後はアジアに開かれた交流拠点として発展している。

県内には国際拠点港湾の北九州港（管理者：北九州市）、博多港（管理者：福岡市）と重要港湾の苅田港、三池港、他に地方港湾が5港（管理者：福岡県）あり、それぞれの港の地理的、歴史的条件と背後圏の社会的、経済的な特性に応じた整備がなされ、地域の産業振興や広域交通体系拠点として重要な役割を果たしている。

事業実施想定区域周辺の港湾区域及び漁港区域を図 3.2-3 に示す。北九州港は小倉南区の井ノ浦から若松区八幡岬に至る臨海部に展開し、その海岸線の延長は約 170km である。北九州港港湾区域は、周防灘、関門海峡、洞海湾、響灘の4つの海域にまたがっている。

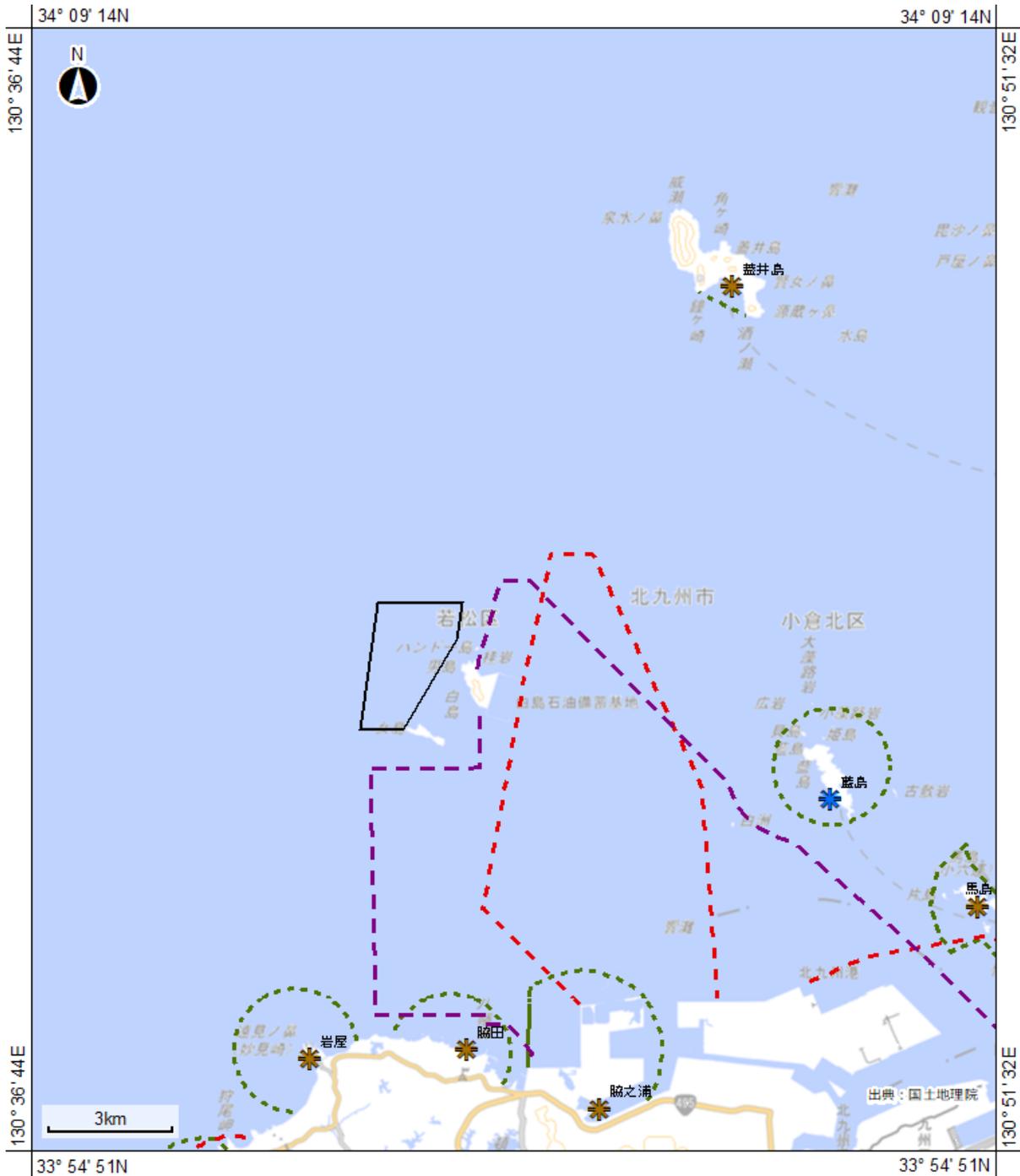
また、漁港区域は、「岩屋漁港区域」、「脇田漁港区域」、「脇之浦漁港区域」、「藍島漁港区域」等が挙げられる。

なお、事業実施想定区域は、これら港湾区域及び漁港区域からは離れている。



出典：「令和5年度県土整備行政の概要 第3「うみ」と「みなと」」（福岡県 HP：  
[https://www.pref.fukuoka.lg.jp/uploaded/life/683249\\_61723578\\_misc.pdf](https://www.pref.fukuoka.lg.jp/uploaded/life/683249_61723578_misc.pdf)、令和6年11月閲覧）

図 3.2-2 福岡県内の港湾



凡例

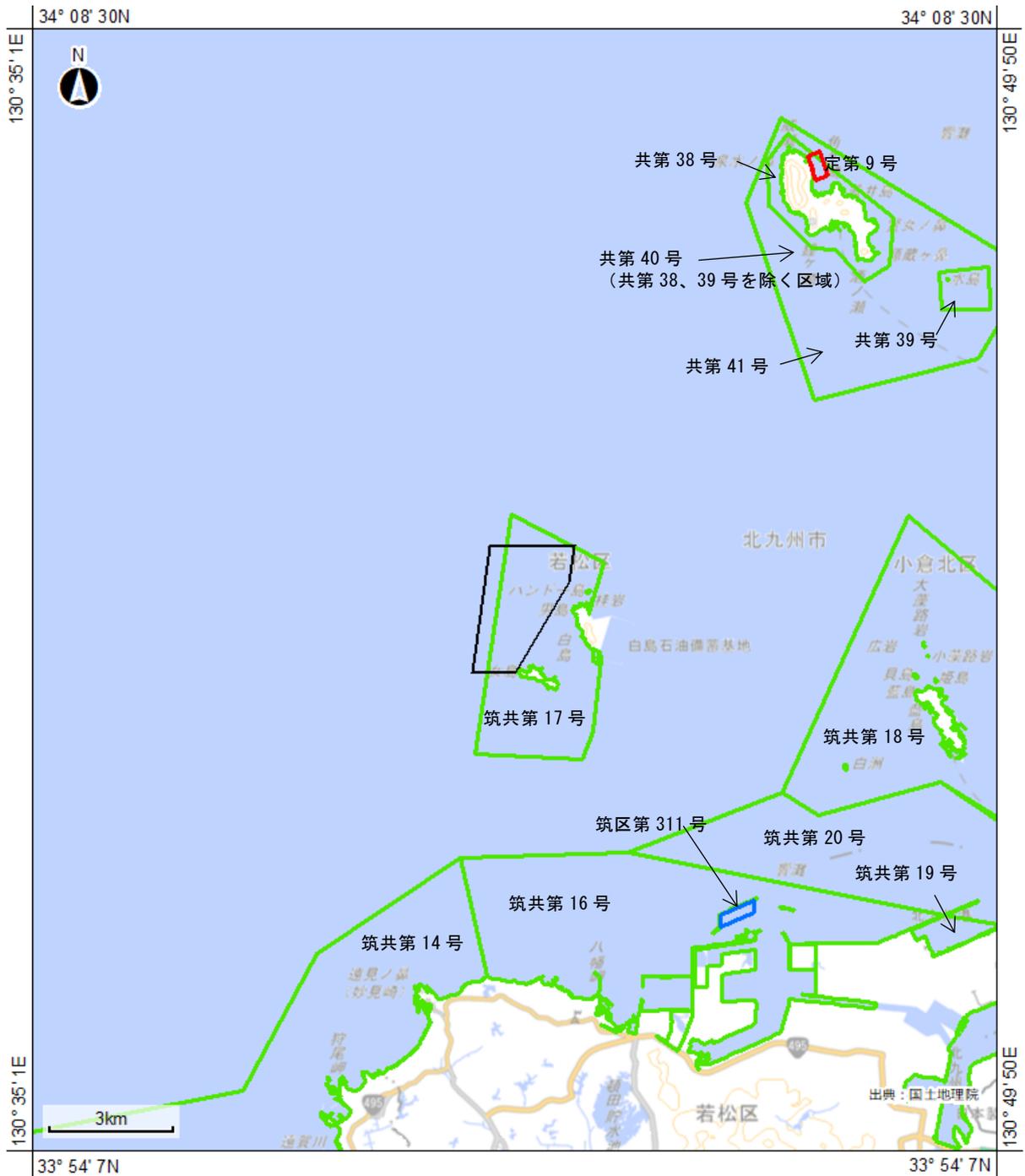
- 港湾区域界
  - 港域界
  - 漁港区域界
- ★ 第1種漁港
  - ★ 第2種漁港
- 事業実施想定区域

出典：「港湾/漁港」（環境省、環境アセスメントデータベース、令和6年11月閲覧）をもとに作成

図 3.2-3 港湾区域及び漁港区域

## 2. 漁業権の設定状況

事業実施想定区域周辺における漁業権の位置図は図 3.2-4 に、共同漁業権の内容は表 3.2-5 に示すとおりである。事業実施想定区域は共同漁業権（筑共第 17 号）内に重なるように位置する。



凡例

- 区画漁業権
- 定置漁業権
- 共同漁業権

事業実施想定区域

出典：「漁業権」（環境省、環境アセスメントデータベース、令和6年11月閲覧）

図 3.2-4 漁業権の位置図

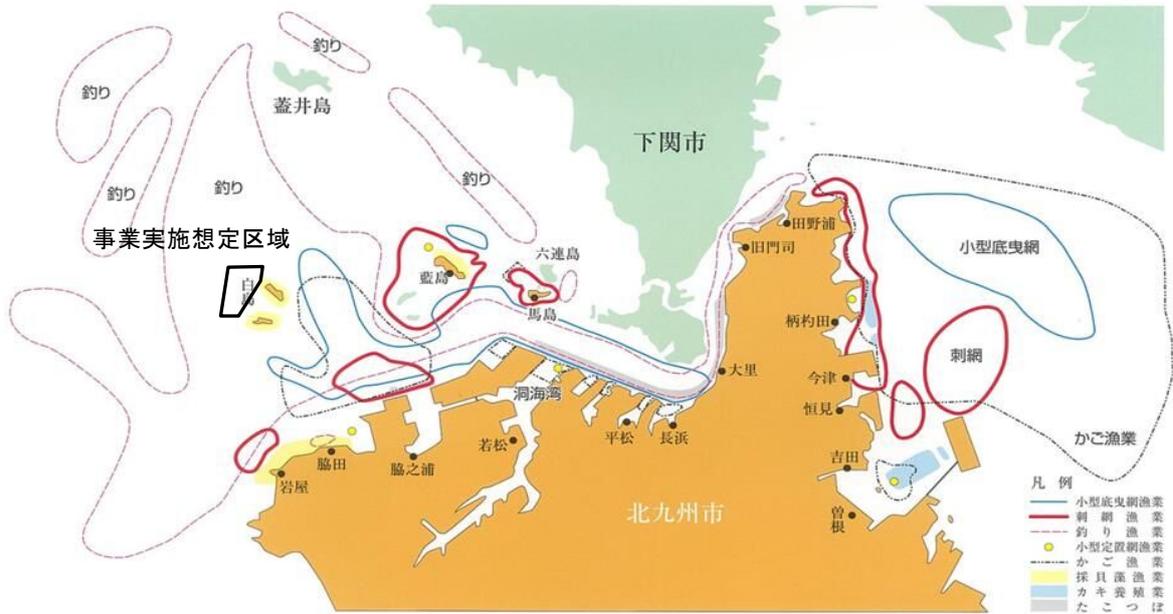
表 3.2-5 共同漁業権の内容

漁業権	免許番号	漁業権者 (漁業協同組合)	漁業種類	漁業の名称
共同	筑共第 14 号	遠賀、他 1 組合	第 1 種共同	えむし、なまこ、たこ、うに、あわび、とこぶし、びな、さざえ、うみにな、あかにし、ばい、てんぐにし、いがい、たいらぎ、かき、あさり、はまぐり、ばかがい、なみのこがい、かめので等
			第 2 種共同	雑魚小型定置網、雑魚曲建網、固定式刺網、あなごうけ、雑魚かご
	筑共第 16 号	北九州市、他 1 組合	第 1 種共同	なまこ、たこ、うに、あわび、とこぶし、びな、さざえ、あかにし、ばい、たいらぎ等
			第 2 種共同	雑魚小型定置網、雑魚曲建網、固定式刺網、あなごうけ、雑魚かご
	筑共第 17 号	ひびき灘、他 1 組合	第 1 種共同	なまこ、たこ、うに、あわび、とこぶし、びな、さざえ、ばい等
			第 2 種共同	雑魚曲建網、固定式刺網、あなごうけ、雑魚かご
	筑共第 18 号	北九州市、他 1 組合	第 1 種共同	えむし、なまこ、いせえび、しゃこ、たこ、うに、あわび、とこぶし、びな、さざえ、うみにな、あかにし、ばい、てんぐにし、いがい、かき、あさり等
			第 2 種共同	雑魚小型定置網、雑魚曲建網、固定式刺網、あなごうけ、雑魚かご
	筑共第 19 号	北九州市、他 1 組合	第 1 種共同	えむし、なまこ、しゃこ、たこ、うに、あわび、とこぶし、びな、さざえ、うみにな、ばい等
			第 2 種共同	雑魚曲建網、固定式刺網、あなごうけ、雑魚かご
	筑共第 20 号	北九州市、他 1 組合	第 1 種共同	なまこ、しゃこ、たこ、うに、あわび、さざえ、ばい、てんぐにし、あさり、わかめ、あかもく
			第 2 種共同	固定式刺網、あなごうけ、雑魚かご
	筑共第 21 号	北九州市	第 1 種共同	なまこ、たこ、うに、あわび、びな、さざえ、たいらぎ、あさり、あらめ、くろめ、わかめ、あかもく
			第 2 種共同	固定式刺網、あなごうけ、雑魚かご
共第 38 号	山口県(蓋井島)	第 1 種共同	あらめ、いぎす、いわのり、えごのり、おごのり、かじめ、てんぐさ、はばのり、ひじき、ふのり、ほんだわら、もずく、ゆな、わかめ等	
共第 39 号	山口県(蓋井島)	第 1 種共同	あらめ、いわのり、えごのり、かじめ、てんぐさ、はばのり、ひじき、ふのり、ほんだわら、もずく、ゆな、わかめ、あわび等	
共第 40 号	山口県(蓋井島)	第 1 種共同	いたやがい、ばい、いせえび、たこ	
共第 41 号	山口県(蓋井島)	第 2 種共同	建網、曲建網、小型定置網、いか巣網、かご	
区画	筑区第 311 号	福岡市	第 1 種区画	カキ養殖
定置	定第 9 号	山口県(蓋井島)	定置	雑魚

出典：「海面における共同及び区画漁業権の免許状況について」(福岡県 HP、令和 6 年 11 月閲覧)  
「漁業権について・共同漁業権、区画漁業権、定置漁業権」(山口県 HP、令和 6 年 11 月閲覧)

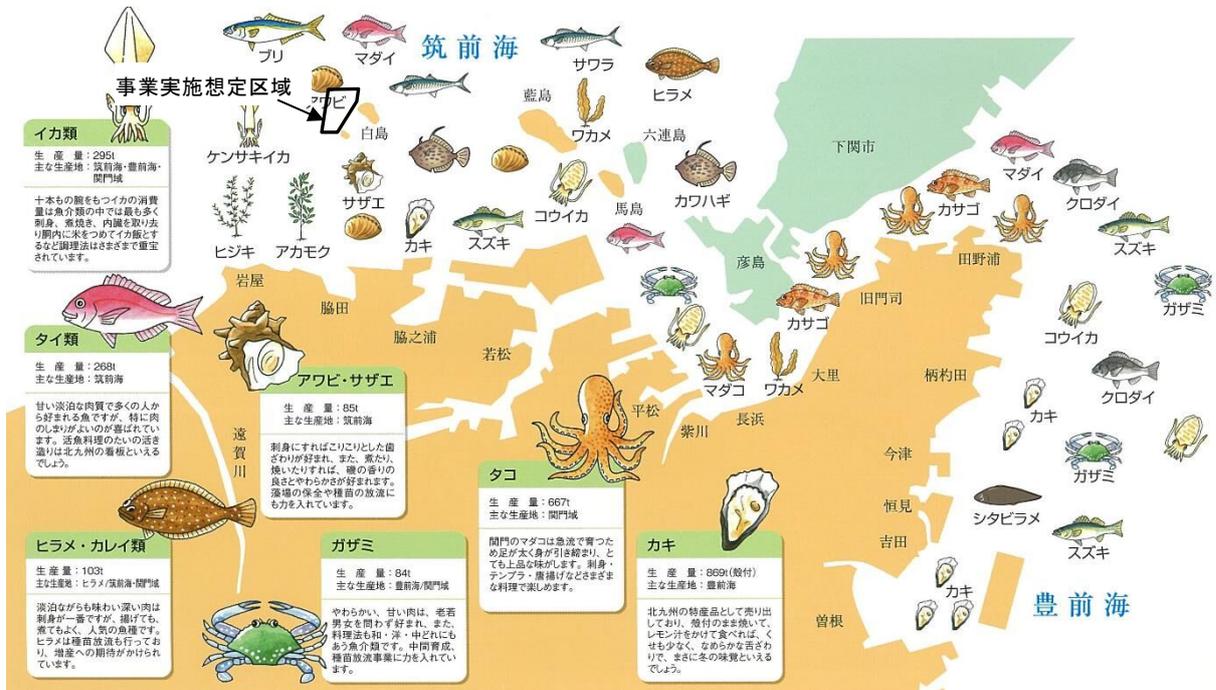
### 3. 漁場の状況

事業実施想定区域周辺の筑前海区は、多くの島や天然の魚礁に恵まれており、タイ、ブリ、ヒラメなどを対象とした釣り・刺網・小型定置網やアワビ、サザエなどの磯根漁業が行われている（図 3.2-5、図 3.2-6 参照）。事業実施想定区域においては、釣りを主体とした漁場となっている。



出典：「北九州市の水産便覧 2019」（北九州市産業経済局農林水産部水産課，2019年）

図 3.2-5 北九州市における主な漁業の操業状況



出典：「北九州市の水産便覧 2019」（北九州市産業経済局農林水産部水産課，2019年）

図 3.2-6 北九州市の主な水産物

### 3.2.3 河川、湖沼及び海域の利用並びに地下水の利用の状況

事業実施想定区域においては、河川、湖沼、海域及び地下水の利用状況の中で、海域の利用が該当する。事業実施想定区域周辺における海上交通の状況について、その概要を以下に示す。

#### 1. 海上交通の状況

##### (1) 北九州港の入港船舶状況

北九州港の入港船舶状況は表 3.2-6 に示すとおりであり、入港船舶 45,302 隻のうち内航船（内航商船及び内航自航）が約 8 割を占めているが、総トン数で比較すると、大型船の多い外航商船の割合が約 5 割を占めている。

表 3.2-6 入港船舶状況（令和 4 年）

港格	港湾	項目	総数	外航商船	内航商船	内航自航	漁船	その他
国際拠点港湾	北九州	隻数	45,302	3,381	36,194	2,386	253	3,088
		総トン数	95,195,844	43,788,419	17,120,216	31,966,297	1,370	2,319,542

出典：「交通関係統計資料・令和 4 年 港湾統計（年報）（データベース形式）」（国土交通省 HP、令和 6 年 11 月閲覧）

##### (2) 漁港の状況

事業実施想定区域に面する北九州市の北側に位置する漁港には、岩屋漁港、脇田漁港、脇之浦漁港、藍島漁港が挙げられるが、それらの漁港の状況を表 3.2-7 に示す。脇之浦漁港は沖合にある白島周辺を主な漁場として漁業が営まれている。脇田漁港では、いか釣りや刺し網、小型定置網など沿岸漁業が営まれ、漁港周辺には海釣り桟橋もある。

表 3.2-7 漁港の状況（平成 30 年度）

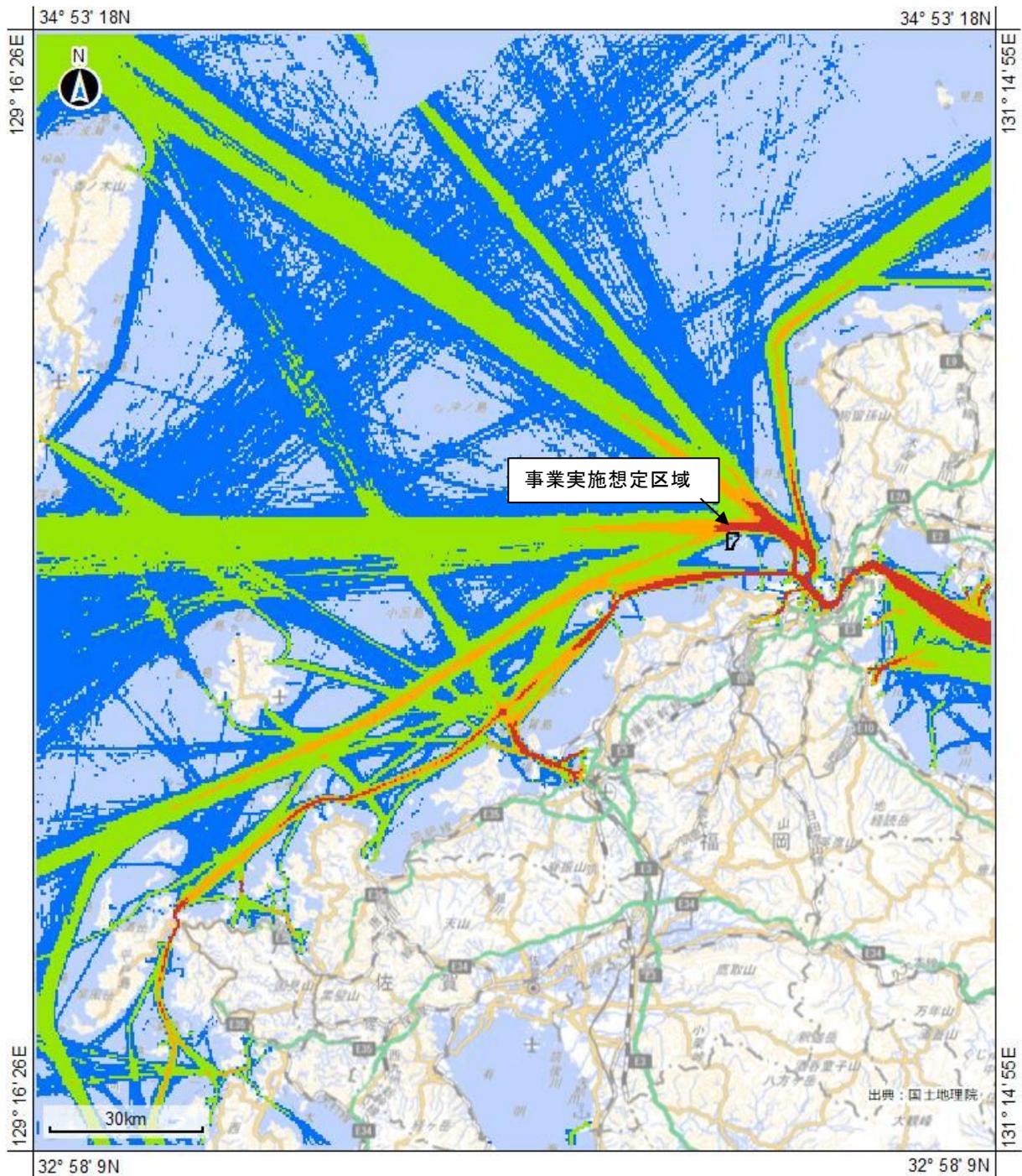
漁港名	漁港地区人口	組合員数	漁業経営体数	漁船（登録漁船）数							
				総数	動力漁船						無動力漁船数
					小計	3t 未満	3t～5t	5t～10t	10t～20t	20t 以上	
岩屋	435	41	28	47	47	29	13	5	0	0	0
脇田	396	31	31	34	34	4	14	15	1	0	0
脇之浦	206	83	53	69	69	7	51	11	0	0	0
藍島	218	89	60	105	105	61	38	6	0	0	0

出典：「福岡の漁港漁場 2020」（一般社団法人福岡県漁港漁場協会、令和 3 年 3 月）

### (3) 船舶の航跡図

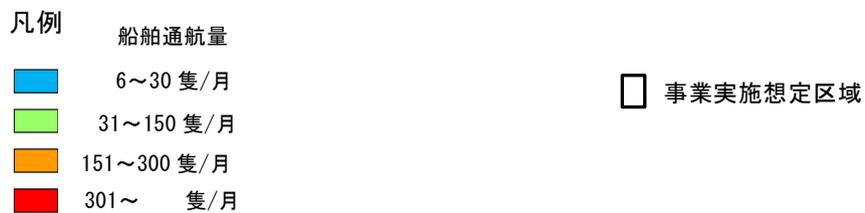
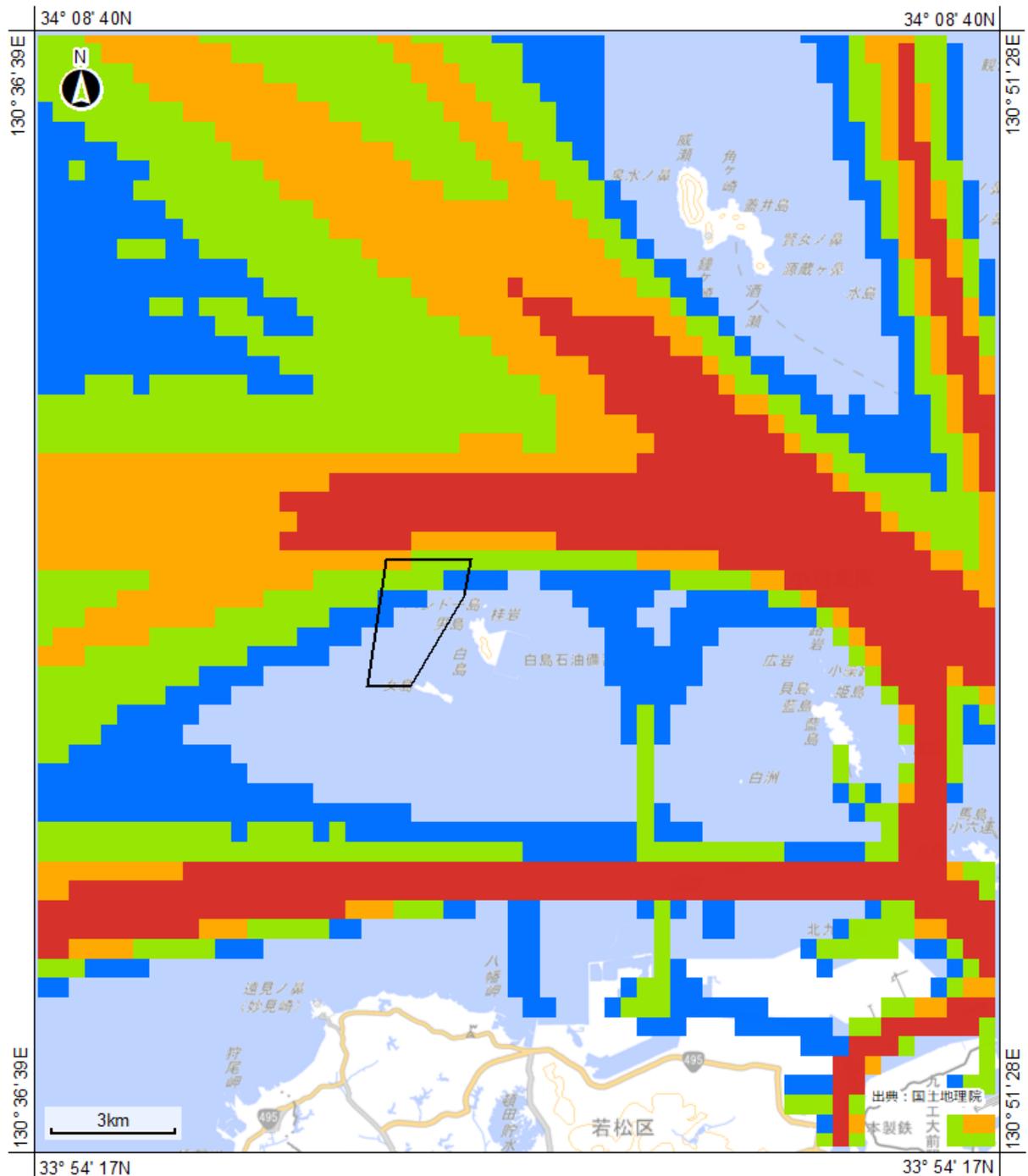
船舶通航量は、船舶の航跡図から、関門海峡から玄界灘にかけて増す傾向にあり、多いところでは 151～300 隻/月以上の船舶通航量が見られる（図 3.2-7、図 3.2-8 参照）。

なお、事業実施想定区域における船舶通航量は、比較的少ない状況である。



出典：「船舶通航量（2017年12月）」（環境省、環境アセスメントデータベース、令和6年11月閲覧）

図 3.2-7 全船舶の航跡図（広域）



出典：「船舶通航量（2017年12月）」（環境省、環境アセスメントデータベース、令和6年11月閲覧）

図 3.2-8 全船舶の航跡図（北九州市沖合）